

「観光立国！」で日本を再生

拝復 二週間のご無沙汰でした。今年の春は、天気の変動が大きいですね。先週の日曜日は最高気温が 24



←最近、はまりまくっています^^;

度まで上がり、昼過ぎに行ったゴルフの練習場では、ものの 30 分も経たないうちに下着が汗まみれになりました。で、月曜日は最低気温 6 度、一日中冷たい雨。翌日は 20 度に回復もつかの間、14 日には再び最高気温が 15 度。暑さ寒さ対策が一日おきに必要でした。でも、寒い日が多かったおかげで今年には例年になく長く桜を楽しむことができました。もうほとんど葉桜状態になっていますが、これからは新緑の季節を楽しむことができます。

先日、私の [ブログ](#) の中で来春大卒予定者を対象にした「人気企業ランキング」について触れました。このランキングは私もリクルート・リサーチ時代に自らも手をかけました。その時々世相を反映して動く非常に面白い調査です。今年の結果上位 40 位の結果をご覧ください。

大学生人気企業ランキング			
1位	JTBグループ	10位	三菱東京UFJ銀行
2位	JR東海	12位	三菱UFJ信託銀行
3位	JR東日本	13位	明治製菓
4位	日本郵政グループ	14位	三井住友海上火災
5位	全日空	15位	ベネッセ
6位	オリエンタルランド	16位	JR西日本
7位	三井住友銀行	17位	NTTドコモ
8位	バンダイ	18位	日本放送協会
9位	みずほFG	19位	三井物産
10位	東京日動海上火災	20位	カゴメ
21位	損害保険ジャパン	22位	高見
23位	伊藤忠商事	24位	凸版印刷
25位	SME	26位	住友信託銀行
27位	JR九州	28位	パナソニック
29位	三菱商事	30位	富士フィルム

リクルート調べ

なぜか運輸・旅行関連が上位にずらり。いまどきの若者は旅行がお好きらしい(笑)、と分析はできませんでした。なぜなら近畿日本ツーリスト(54位)やHIS(59位)であったからです。JRグループは本州三社がいずれもトップ20位以内。郵政の4位を考えると、「超安定志向」のランキングとしか見えません。3大メガバンクがいずれもトップテン入り。「**いまの学生はやっぱり社会のことをよく分かっていない**」としか思えない結果でした。もうひとつ大きな特徴が、トップ10にメーカーがゼロ。20



位までを見ても「明治製菓」

「カゴメ」



←毎朝一本、健康の元

の食品メーカー2社のみ。縮む日本が

見える、と解説しました。

それから何日かたって、ふと「**大学生の視点も悪くないかも**」と思い出したのです。

人口減、超高齢化社会に突入した日本には、これまでのような大きな市場を望むことはできません。メーカーは人件費の安い海外へ移転するでしょう。フランスの数学者ベルトランの「完全競争下では物の値段は限界まで下落する」という法則が生きているのです。よく考えると、「外国が日本にお金を落としてくれる」ものは二つしかありません。一つは「特許収入」もう一つは「外国人観光客の

こういう情報誌はいくつか出ているようです→



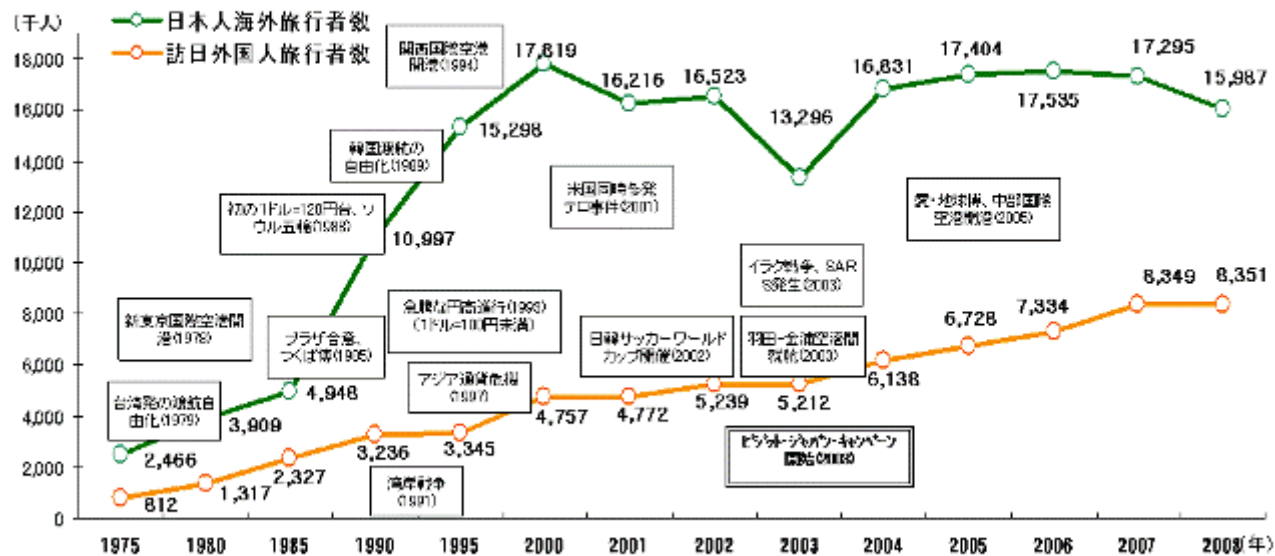
消費」です。もちろん目が行ったのはもちろん「外国人観光客の消費」。海外の人々に日本を訪れただけ、旅行費用、お土産などで大盤振る舞いをしていただくことが非常に有効な手段に思えたのです。

まず下図をご覧ください。観光庁のホームページの資料です。一目で分かりますが、日本人が海外に出かける人数のほうが、外国人旅行者よりも圧倒的に多いのです。外国人観光客の数は順調に伸びているように見えます。事実2008年には835万人が日本を訪れています。しかし、2009年に関しては金融恐慌から端を発した世界同時不況と新型インフルエンザの影響で前年度を大幅に下回り、679万人と2005年度の水準にまで落ち込んでいます。ただ、個人観光ビザ解禁（8月）に踏み切った中国からは、前年度を大幅に上回る旅行者が訪れています。テレビのニュースなどでもおなじみかもしれません。例年2月は寒風が



吹きすさぶ「秋葉原」。今年は様子が違いました。中国の旧正月にあたる2月に中国人観光客が大挙して訪れたのです。輸出するだけが外貨を獲得する方法ではないのです。旅行者が国内で購入するよりも安い商品を買って、ついでに観光してもらえばよいのです。（JAPANブランドは中国では健在です）

訪日外国人旅行者数及び日本人海外旅行者数の推移



資料：延務省資料に基づき国土交通省作成資料による

もうひとつ別のグラフを見てください。世界でどの国が一番多くの外国人観光客を獲得しているか。日本は世界で 30 位です（ただこの資料が 2004 年度の集計でちょっと古い）。

1位	フランス	10位	カナダ	21位	ロシア
2位	スペイン	12位	トルコ	22位	サウジアラビア
3位	アメリカ	13位	マレーシア	23位	シンガポール
4位	中国	14位	ウクライナ	24位	マカオ
5位	イタリア	15位	ポーランド	25位	クロアチア
6位	イギリス	16位	ギリシャ	26位	南アフリカ
7位	香港	17位	ハンガリー	27位	ベルギー
8位	メキシコ	18位	タイ	28位	アイルランド
9位	ドイツ	19位	ポルトガル	29位	スイス
10位	オーストリア	20位	オランダ	30位	日本

トップのフランスはなんと **7500 万人**。自国の国民より多い。まあ、ヨーロッパは地続きですし、EU を名乗っているくらいですから多少のハンデはある。アジアに限ってみても中国は **4000 万人**、香港 **2000 万人**、マレーシア **1500 万人**（日本の倍）です。日本政府の無策の結果でしょう。



←ハンガリー、トカイワインくらいしか知りません^^;

しかし、せめて日本の倍の「ハンガリー」(失礼!) くらいにはなろうよ。と言うか、成れる。

改めて日本にたくさんの外国人観光客を呼ぶためのボトルネックはどこでしょうか？

- 1、島国であって入国にはほぼ空路しかない 成田空港は非常に不便
- 2、Far east にあり距離的に不利
- 3、単一言語で、かつ日本人の英語リテラシーが低い
- 4、物価が高い（と思われる）。最近ではロンドン、NY、パリとほとんど変わりません
- 5、知られていない（観光庁も HP で認めています）
- 6、隣国に一人当たりの GDP が大きい国がない（欧州、北米大陸とは事情が違う）

しかし、日本にはものすごい観光資源があると考えます。

私は父の仕事の関係で生まれてから高校卒業まで各地を転々としてきました。記憶にある範囲で言えば

佐世保バーガーこんなものはありませんでしたよ（笑）→



府中第九小学校（東京）→東宇治中学（京都）→岩国中学（山口）→佐世保南高校（長崎）
各地でいろいろな観光地を訪ねた。転校にはつらいことが多かったが、その分日本中を見ることができた。

（生まれは仙台、2 歳までは青森にいたのですが記憶がまったくありませんm(_ _)m）。**日本は観光資源の宝庫**だと言ってもよい、と思います。


- 1、日本の国土の 7 割は山林。緑と長い海岸線が覆う美しい国である
- 2、南北に長い国土ゆえ、北海道（北国）～沖縄（南国）まで様々な気候・文化を楽しむ
- 3、長く外国からの脅威を受けなかったため、固有の文化が発展している

- 4、公共交通機関が全国くまなく張り巡らされており、移動が非常に簡単
- 5、おそらく世界で一番、安全、清潔である
- 6、エコ先進国である。また日本食はきわめて健康的な食事文化である

では、具体的にどうするのか、



←本当のハブはめっちゃ怖いです。

- 1、羽田空港を**日本のハブ**  **空港**にします。ご経験者が多いと思いますが、**成田空港は本当に不便**。千葉県に住んでいる私が言うのだから、間違いない（笑）。羽田空港にあと2本滑走路を作って全便を旅客機に割り当てます。成田空港は貨物専門空港とします。その他、以下の空港を国際空港とします。札幌、中部、関西、広島、福岡、那覇。羽田の拡張までは、韓国のインチョン空港をハブ空港とします。
- 2、**海外の格安エアラインの参入を自由化**します（空港使用料は格安にします）
- 3、**クールジャパンの伝道を常設化**します（マンガ、アニメ、コスプレ、ポップミュージック）
- 4、JR、私鉄、飛行機の共通パスポートを発行します 7日間5万円、乗り放題
- 5、インターネットを通じて世界中どこからでも日本旅行パックを直接購入できるようにします。

これ、すごいインパクトですよ。日本に行くのは怖くない^^; →



- 6、**希望者には電子辞書を無料配布（500万台でもたったの500億円！）**（笑）
 - 7、各国際空港には「カジノ」の併設を許可します。日本オリジナル（アニメ、アーケードゲームなど）
 - 8、**Visit Japan** キャンペーンを実施。ただし扱い、クリエイティブすべてコンペ（国内外）
- きりはありますが、1、の羽田空港の拡張を除けば一兆円はかからないでしょう。財政赤字の金額を思えば、誤差の範囲です^^;。

こうしてみると、最大の問題点はPR不足と、入国手段、外国人の受入体制であることが分かります。平均一週間の滞在で落としてくれる金額は**2000万人×30万円=6兆円**の産業が出現します。消費税を10%とみても6000億円が国庫に入ります。波及効果を考えると20兆円くらいはある。こうして、年間2000万人訪れる一大産業の出来上がり。人気企業ランキングからインスパイアされて自分なりのアイデアをまとめてみました。暴論です。しかし、もはや暴論しか日本を救えない。日本が自壊の道をたどるまで、あと5年の猶予でしょう。時間はない。

次回はGWでお休みをいただきます。5月中旬にお会いしましょう。ではでは～（^^）/～～～

株式会社アール・リサーチ 代表 柳本信一

〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3 F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail : ryubon@kkd.biglobe.ne.jp

<http://r-research.co.jp/> ブログ、毎日更新しています→<http://rresearch.blog103.fc2.com/>